

けせん医報



目次

●巻頭言 「春を迎えて」 気仙医師会 副会長 岩渕内科医院 院長 岩 渕 正 之…2	●気仙医師会学術講演会 * 気仙地区糖尿病研究会 2019 【特別講演】「大血管障害抑制からみた 2型糖尿病治療 —DPP-4 阻害薬の可能性—」 演者 岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野 教授 石垣 泰先生…12
●理事会報告………3 ■第6回理事会報告………3	●平成30年度気仙医師会産業医研修会（実地研修会）…13
●隨想 「多焦点眼内レンズのもたらす福音」 飯塚眼科医院 院長 飯塚 和彦…7	●平成31年度学校医等の推薦について…15
●各科のトピックス「泌尿器科領域におけるがん免疫療法」 県立大船渡病院 泌尿器科 科長 五十嵐 大樹…8	●会員の異動・退会のお知らせ…20
●医院紹介 「陸前高田市国民健康保険広田診療所」 所長 岩井直路…10	●事務局日記…21
	●編集後記…22
	●表紙のことば…22



第149号
2019. 4. 25

気仙医師会
岩手県大船渡市盛町字内ノ目6-1
TEL:0192-27-7727 FAX:0192-26-2429
<http://kesen-med.or.jp/>

卷頭言



春を迎えて

気仙医師会 副会長
岩渕内科医院 院長

岩渕 正之

さて、この原稿が皆様のところに届く頃には年号も変わっていることでしょう。

昭和に生まれ、平成と共に働き、還暦と同時に新しい年号を迎える事になりました。

平成時代はたくさん働いたので新年号時代は悠々自適に…

まあ、そんな訳には勿論いかず仕事はますますハードになるばかりです。

在宅医療を始めてから携帯電話を離せず夜中のコールにも対応せねばなりません。

その中の朗報は住田町の訪問介護ステーション「すみちゃん」の開所。

今まで往診依頼は絶対断らない、をモットーにしてきました。

唯一断ったのが住田町のグループホームからの依頼でした。

個人宅だけではなく施設も引き受けてしまうと大船渡と三陸町が回らなくなってしまうのです。

訪問看護さんも陸前高田市のステーションに頼る形となり迅速な対応はできません。

住田町での看取りも何件かありましたがご家族を待たせてしまう事、度々でした。

迅速に連携できる「すみちゃん」の開所はシステムティックな在宅医療にどれほど助けになる事か、期待大です。

しかも新所長の高橋さんは旧知の仲なので私の在宅診療のやり方を把握しておられます。

つまりお互い余計な気を遣わずダイレクトな連携ができる訳です。

新所長に高橋さんを呼んで頂いた「未来かなえ機構」に深く感謝致します。

という事で新年号となったら悠々自適、ではなく更なる在宅医療の充実に向けて頑張らねばなりません。

因に私の亡き母、澄子は皆に「すみちゃん」と呼ばれておりました。

母と同じ名前の訪問介護ステーション、親しみが湧きます。

隨 想

「多焦点眼内レンズのもたらす福音」

飯塚眼科医院 院長

飯 塚 和 彦

最近の医療の進歩には著しいものがあります。白内障手術もその一つであると思われます。私が医師になった、30年程前の白内障手術は、角膜の周辺部を10mm程切開し、白内障になった水晶体を丸ごと摘出、人工臓器の一種である眼内レンズを挿入、角膜を縫合する術式が一般的でした。その頃、白内障を超音波により破碎・吸引する手術装置が開発され、この装置では、白内障を摘出するのに必要な切開創は3mm程度で、白内障を摘出後、手術創を7mm程度に拡げて、眼内レンズを挿入しておりました。切開創は、10mmから7mmに短縮しましたが、切開創の縫合が必要でした。

このような状況から、折りたためる眼内レンズが開発され、現在この折りたためるもののが一般的になりました。この眼内レンズでは、切開創は3mm未満と小さくなり、縫合することもほとんどありません。

さらに眼内レンズは、乱視も矯正できるトーリック眼内レンズや、眼鏡の遠近両用と同様に、遠方にも近方にもピント合う多焦点眼内レンズが開発され、普及し始めています。眼内レンズの完成形とも言える、乱視も矯正でき、遠方にも近方にもピント合うトーリック多焦点眼内レンズも出回り始めています。ここまで来ると、近視も乱視も老視も全て矯正できる訳ですから、白内障になっていなくても、手術して水晶体を除去、この眼内レンズを挿入することにより、老眼鏡を含め、一切眼鏡のお世話になる必要がなくなることになります。ただし、手術適応として当然白内障以外に視力障害を来す眼疾患がないこと、さらに近視や乱視が、この眼内レンズの矯正範囲内であること、角膜や瞳孔の状態、全身的な合併症などクリアすべき条件は少なくありません。

また、現状では、トーリック眼内レンズは保険診療にて挿入できますが、トーリックのものも含めて多焦点眼内レンズは、先進医療として、手術費用は全額患者負担となっています。患者の負担が高額となるため、当地では需要が少ないことが予測され、私はこのレンズは使用していませんでした。しかし、来年4月に予定されている保険診療報酬改訂時に、全ての眼内レンズが保険適応となるとの予測が聞かれ、心待ちにしているところです。

白内障手術を手がけている眼科医は、概して白内障手術にやりがいを感じています。劇的に視力が改善し、患者さんからも大いに感謝される訳ですから、多焦点眼内レンズが広く使われるようになれば、さらに患者さんに福音をもたらすことでしょう。

先生方でも、60～70歳になり、視力低下や霧視感を自覚されているようであれば、多焦点眼内レンズ挿入をお勧めかもしません。



各科のトピックス

「泌尿器科領域におけるがん免疫療法」

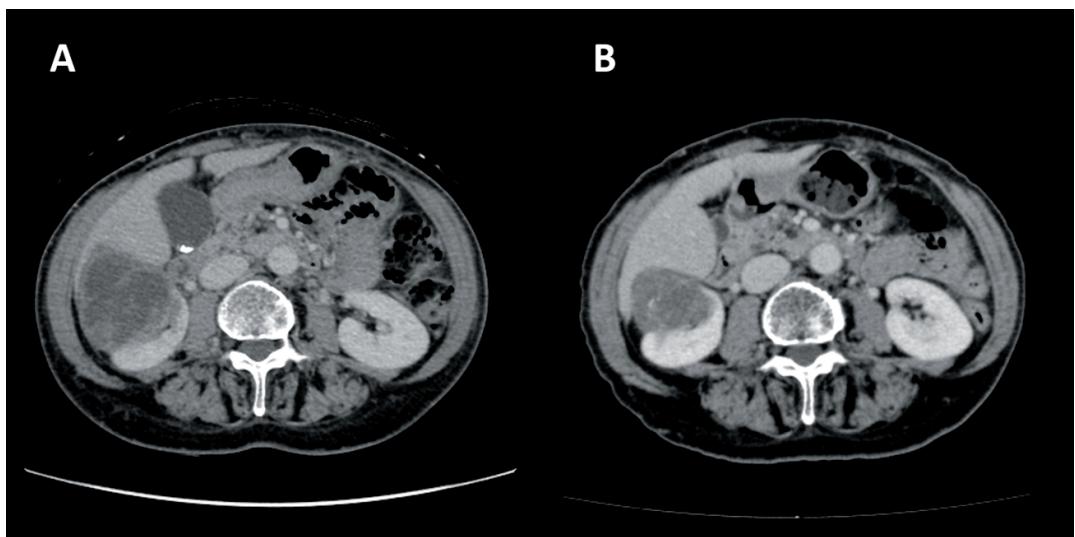
岩手県立大船渡病院 泌尿器科 科長 五十嵐 大樹 先生

2018年のノーベル生理学・医学賞を日本の本庶佑名誉教授が受賞されたことは記憶に新しいところです。本庶先生らの研究チームが研究・開発された抗PD-1抗体薬をはじめとする免疫チェックポイント阻害剤は、現在、がん種を問わず、数多くの患者さんに希望を与える治療法となっています。2014年に悪性黒色腫を対象に免疫チェックポイント阻害剤である「オプジーボ」が海外に先駆けて日本で承認・発売されたことを皮切りに、多数の癌腫に適応が拡大し多くの臨床試験が現在も行われています。

泌尿器科領域においては、2016年に既治療の根治切除不能または転移性の腎細胞がんを対象に抗PD-1抗体薬の「オプジーボ」が、2017年にはがん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮がんを対象に「キイトルーダ」が、2018年には前治療歴のない、中および高リスク進行または転移性腎細胞がんを対象に「オプジーボ」と抗CTLA4抗体薬の「ヤーボイ」の併用療法が適応となっています。腎細胞がん領域においては、ここ数十年間で薬物療法は急速な変化を遂げており、尿路上皮がん領域においても30年来となる効果の期待できる二次治療薬が使用できるようになり、泌尿器がん治療にパラダイムシフトがおきていることが実感されます。

これらの免疫チェックポイント阻害剤による療法は、高い効果が期待できる薬である一方で、注意も必要な薬剤になります。一つは、効果を得られる方は限定的であるということです。免疫チェックポイント阻害剤の登場により奏効率の向上と全生存期間の延長が観察されるようになりましたが、腎細胞がんに対する「オプジーボ」の奏効率は約25%で、膀胱癌に対する「キイトルーダ」の奏効率約21%と奏功しない患者さんの割合が多いことも事実です。もちろん、奏効率が直接生存期間の延長に寄与するわけではありませんが、決して誰にでも効果が期待のできる魔法の薬ではないこともあります。しかし、これらの免疫チェックポイント阻害剤は効果を認める患者さんには著効する可能性を秘めた薬剤です。我々も、非常に予後の厳しい進行性腎がんの患者さんに逐次療法として「オプジーボ」を投与したところ、著明な腫瘍縮小効果を認めたのみでなく、切除後の腫瘍が病理学的完全奏効を認めていた症例を経験しております(図1・2)。

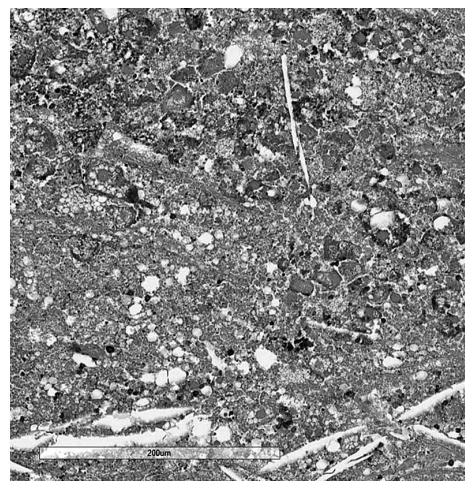
図1 A-オプジーボ投与前 B-オプジーボ投与後



もう一つの注意点は、がん免疫療法における有害事象です。がん免疫療法は、がん細胞の生存・増殖に対抗するために免疫応答を活性化します。これにより自身の免疫系が、がん細胞だけでなく正常細胞も攻撃する可能性があります。これらの作用は免疫関連有害事象として知られ、頻度は多くありませんが全身のどの部位にも、どのタイミングでも起こる可能性があるため注意が必要です。がん免疫療法においては、免疫関連有害事象の重篤化を防ぐために、①早期発見・早期治療、②臓器別アルゴリズムを用いた対処、③患者教育の3つの柱が重要とされています。そのため、がん免疫医療においては、医師だけではなく、患者さんや他職種も含め、また診療科横断的なチーム診療が求められます。

県立大船渡病院の泌尿器科は、上記に挙げた全ての免疫チェックポイント阻害剤による治療を提供できる岩手県沿岸では唯一の病院です。自分たちの生まれ育った土地で最先端の医療を安心して受けられる、そのようながん治療に悩む患者さんの思いに応えれるように、私たちも日々医療の進歩に対して研鑽を積まなければならぬことを実感させられます。今後、がん免疫療法は更なる発展を遂げる分野であることが予想され、決して特別な治療法ではなくなります。当科ではがん免疫を積極的に治療戦略に組み込むことで、がん患者さんへ希望の光を与えるように診療を行っております。がん治療にお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、是非私たちにご相談ください。

図2 H&E染色 病理学的完全奏効



医院紹介

A horizontal row of 20 empty star-shaped icons, each with a small circle in the center, used for rating or review purposes.

陸前高田市国民健康保険広田診療所

所長 岩井直路

平成30年4月に陸前高田市国民健康保険広田診療所に着任して早いもので一年が経過しました。不慣れな私に対して、気仙医師会の先生方から多くのご助言頂きましたこと、そして常勤医不在の時の診療支援、紹介患者に対する継続診療をして下さいましたこと心より感謝申し上げます。

医院紹介ということですが、"新生"広田診療所の取り組みも含め紹介します。

当院のスタッフは、医師は所長である私1名ですが、現在月1回医局同門の後輩医師に診療支援に来てもらい、二又診療所の石木先生とは相互協力できる体制にしています。看護師は4月から常勤看護師2名（+産休看護師1名）とパート採用ですが広田町の患者・家族の顔、背景まで覚えていて、気仙弁の通訳でもある看護師1名の実働3名体制です。事務職1名に加え、お料理上手の清掃員1名、頼りになる委託医療事務職員2名が診療所を支えてくれています。

昨年4月からの電子カルテ導入に合わせて診療は基本予約制とし、月曜日から金曜日まで日勤帯の診療としていますが、木曜日午後は研修・対外活動ができるように通常診察を行っていません。木曜日の午前の時間帯を利用して訪問診療を行っていますが、在宅患者の増加に伴い、訪問診療の時間帯を増やさなくてはならない状況になっています。訪問看護ステーションと協力し、在宅人工呼吸管理患者、オピオイドによる疼痛管理が必要な、がんターミナル患者も訪問診療しています。まだ数名ですが在宅看取りも行いました。

診療所の特徴的な取り組みとして、木曜日の午後、月2回、健康運動教室「ひろっ歩」を隣の広田コミセンで開催しています。介護予防運動指導員でもある看護師が、若い人から超高齢者を対象に、呼吸法やストレッチを織り交ぜながら懇切丁寧な指導をしています。

がん看護ケアよろず相談窓口「ヒロピス」は、木曜日午後2時から4時、がん看護の経験が豊富な看護師（広田町出身、国立がん研究センター中央病院、静岡がんセンター、宮城県立がんセンター勤務）が担当し、今年3月よりスタートさせました。私も緩和ケア病棟での経験を活かして緩和ケア医としてサポートしています。がんに罹患し悩んでいる患者さん、ご家族がいれば、是非ご利用下さい。予約制で、費用は無料です。

認知症初期集中支援チーム、認知症サポート医としての活動もすでにスタートしており、少し荷が重いですが学びを重ねながら頑張っていくつもりです。

この1年間、医療介護連携の講演、市民への健康講座、中高生への高齢者・認知症の講義から始まり、「人生の最終段階における心づもり」、いわゆるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する講義、未来図会議参加など意欲的に取り組んできました。さらには復興支援コンサート開催、広田町根岬の祭り梯子虎舞での大太鼓、まちづくりの部会との交流など、医療を超えた様々な活動にも参加しています。

今春5月には待望の門前薬局がオープンします。ポリファーマシーへの対応も含め連携を密に行い、かかりつけ薬局として機能し良い医療のパートナーになることを期待しています。

広田診療所の基本理念「ひとを尊び、こころと生命を、たいせつに育み守る、おらほの診療所」を忘れずに、住民に愛され、必要とされる診療所をめざしていきます。そんな思いもこめて作ったロゴマークは、基本理念で大切にしているHumanity, Heart, Healthの3つの言葉を入れ、診療所前に植樹した梅の花を背景にしています。

4月から広田小学校学校医、広田保育園の園医も担当します。また陸前高田の在宅療養を支える会での活動も通して、気仙医師会の先生方にはお世話になることも多くなってくると思います。今後ともご指導、ご協力のほどお願いいたします。



気仙医師会学術講演会

気仙地区糖尿病研究会2019

◎日時：2019年2月19日

【特別講演】

「大血管障害抑制からみた2型糖尿病治療－DPP-4阻害薬の可能性－」

演者 岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野

教授 石垣 泰先生

糖尿病診療の目的是健康寿命の延伸であり、そのためには合併症の発症抑制が重要である。糖尿病大血管障害の危険因子に関しては数多くの報告があるが、本日は糖代謝に関連した因子について紹介する。HbA1cの意味する慢性的な高血糖が大血管障害のリスクであることが、1型糖尿病を対象にしたDCCT/EDIC研究の結果から推察される。治療強化による網膜症発症抑制効果は4年前後で認められたのに対して、大血管障害が有意に抑制されるまで17年を要したことから、血糖改善が動脈硬化に好影響を及ぼすには長期間を要することがわかる。また食後高血糖・血糖変動の抑制、低血糖の減少の有効性が報告されている。

現在、わが国の糖尿病治療薬の中心はDPP4阻害薬である。本薬剤は副作用が少なく、既存の糖尿病治療薬と併用しやすいため幅広く診療現場で用いられている。大血管障害に対する上述の因子、すなわちHbA1c低下と血糖変動抑制、低血糖減少に効果を示すことから大血管障害に対しても有効性を示すものと期待される。同じインクレチニン関連薬であるGLP-1受容体作動薬の大血管障害抑制効果が明らかになっていることも、一層期待を高めている。またGLP-1作用とは独立して、SDF-1 α などに対するDPP4阻害効果が血管保護的に作用する機序も想定される。しかしこれまで欧米で行われた大規模臨床試験で示されたDPP4阻害薬の大血管障害に及ぼす効果は中立的である。これはGLP-1の血中濃度の違いが血管保護効果の差になって表れている可能性がある。エビデンスとしては不十分であるものの、サロゲートマーカーである頸動脈IMTの退縮効果や前向き観察コホト研究では、DPP4阻害薬の大血管障害抑制効果が示唆されている。興味深い前向き観察研究としては、冠動脈狭窄の重度な群に対してはDPP4阻害薬の効果は示されなかったのに対して、狭窄が重度でない群に対しては大血管保護効果が示唆されたという報告がある。DPP4阻害薬の大血管障害への有効性は、動脈硬化が進行する前の時点で発揮されることを示唆するものと思われる。これまで行われてきた大規模試験は心血管に対する非劣性を短期間で証明するために、主に二次予防の高リスクの症例を中心にデザインしてきた。願わくは、早期の動脈硬化症例を中心とした長期間の介入試験が計画されることが、DPP4阻害薬の大血管に対する効果を明らかにしてくれるものと思われる。

平成30年度 気仙医師会産業医研修会 (実地研修会)

平成31年2月16日(土)午後2時から、産業医研修会(実地研修会)が開催されました。

研修会場は、昨年度に引き続き、3カ年に渡り大規模改修工事が行われている岩手県立大船渡病院で行われました。

同病院副院長で当医師会理事の氏家隆医師からのあいさつに続いて、次のスケジュールにより進められました。

《実地研修会スケジュール》

14:10~14:15 あいさつ

14:15~14:45 研修会の概要説明

岩手県立大船渡病院大規模改修工事における衛生管理について

説明者：清水建設株・(株)タカラ特定共同企業体

管理技術者 浅野達也様

15:00~15:50 現場見学

岩手県立大船渡病院大規模改修(建築)工事作業所

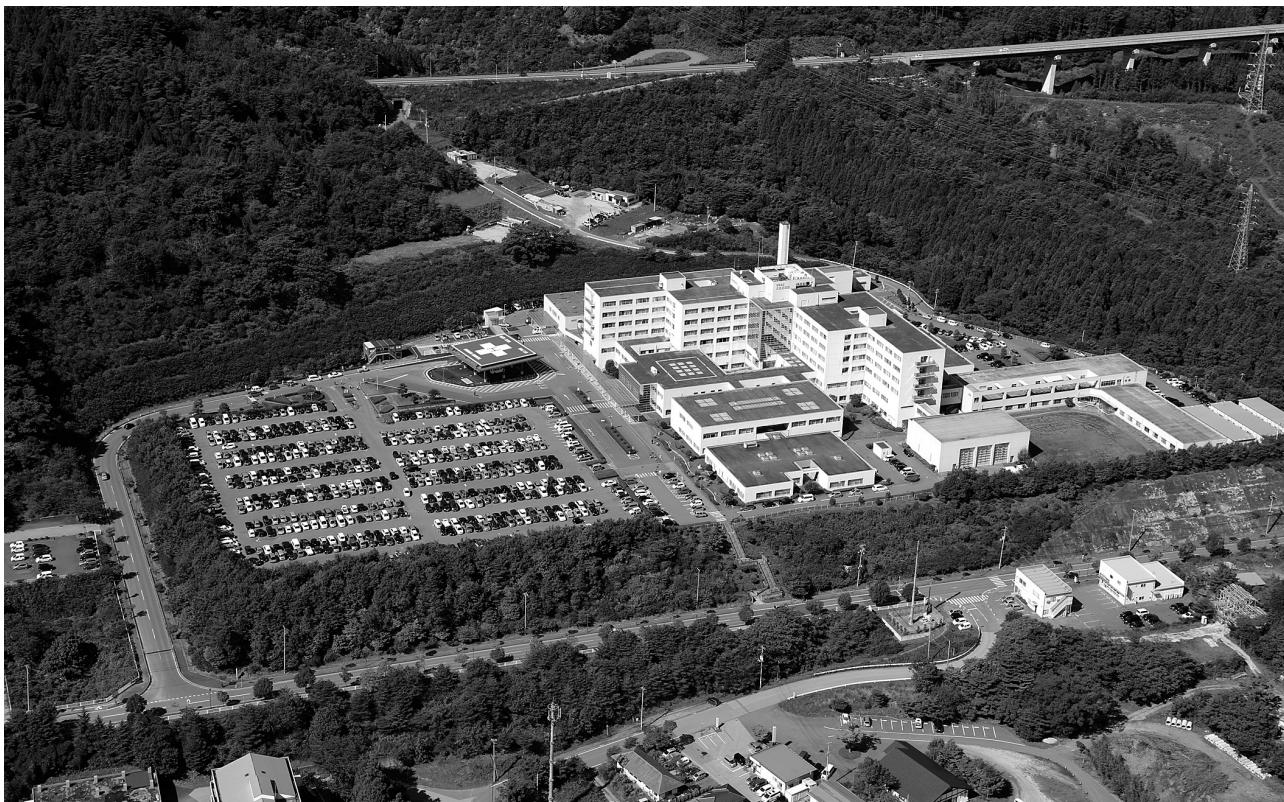
説明者：清水建設株・(株)タカラ特定共同企業体

管理技術者 浅野達也様

15:50~16:00 質疑応答

応対者：清水建設株・(株)タカラ特定共同企業体

管理技術者 浅野達也様



1 工事概要

工事目的 平成6年の新築竣工から23年を迎える、屋上防水改修、外壁改修、設備機器、配管類の更新を行い、さらに20年間使用できる建物を造る。

工事名称 大船渡病院大規模改修（建築）工事

工事場所 岩手県大船渡市大船渡町字山馬越10-1

契約工期 2016年10月14日～2020年1月26日（延べ1,200日間）

改修面積 33,072m²

構造・階数 S R C 造・一部S造 O B F - 6 F - O P H F

工事区分 建築工事・電気設備工事・空調設備工事・衛生設備工事

2 衛生管理

1) 協力業者への現場ルールの周知

- ① 新規入場者教育 ② 朝礼時周知 ③ 作業間調整時周知 ④ 特別安全衛生協議会時事業主への周知

2) 設備

- ① 休憩所、仮設トイレ：男女別に配備

- ② 作業場所：夏季においては扇風機を必要箇所に設置

3) 熱中症対策

- ① 体調管理：K Y活動時体調確認および現場巡回時作業員への声掛け

- ② 設備：冷水器・製氷機設置、保冷剤・経口補水液の常備

4) インフルエンザ対策

- ① 体調管理：予防接種受診、手洗い・うがいの徹底、体調不良時の出勤停止、病院受診、病院への入場時マスク着用

- ② 設備：手指消毒剤及びマスクの常備



学校医等の推薦について

◎大船渡市教育委員会関係

平成31年度 大船渡市立小中学校医

施設名	児童生徒見込数	内科	眼科	耳鼻科
盛 小 学 校	117人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 小 学 校	150人	星 篤 樹	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
末 崎 小 学 校	142人	滝 田 有	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
赤 崎 小 学 校	120人	鵜 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
猪 川 小 学 校	307人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
立 根 小 学 校	198人	星 篤 樹	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
日 頃 市 小 学 校	74人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 北 小 学 校	139人	菊 池 洋	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
綾 里 小 学 校	89人	山 浦 玄 悟	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
越 喜 来 小 学 校	79人	佐 々 木 道 夫	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
吉 浜 小 学 校	49人	星 篤 樹	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
第 一 中 学 校	335人	遠 藤 稔 弥	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 中 学 校	165人	岩 渕 正 之	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
末 崎 中 学 校	76人	滝 田 有	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
赤 崎 中 学 校	66人	鵜 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
日 頃 市 中 学 校	31人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
綾 里 中 学 校	56人	山 浦 玄 悟	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
越 喜 来 中 学 校	40人	佐 々 木 道 夫	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
吉 浜 中 学 校	36人	渡 邊 周 永	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也

※児童生徒見込数は、平成30年11月1日現在

平成31年度 就学時健康診断担当医

施設名	受診対象見込数	内科	眼科	耳鼻科
盛保育園	30人	大津定子	飯塚和彦	伊藤俊也
大船渡保育園	29人	岩渕正之	飯塚和彦	伊藤俊也
明和保育園	19人	岩渕正之	飯塚和彦	伊藤俊也
末崎保育園	21人	大津定子	飯塚和彦	伊藤俊也
赤崎保育園	9人	鵜浦哲朗	飯塚和彦	伊藤俊也
蛸ノ浦保育園	8人	鵜浦哲朗	飯塚和彦	伊藤俊也
猪川保育園	22人	大津定子	飯塚和彦	伊藤俊也
立根保育園	21人	星篤樹	飯塚和彦	伊藤俊也
日頃市保育園	7人	山浦玄嗣	飯塚和彦	伊藤俊也
海の星幼稚園	11人	山浦玄嗣	飯塚和彦	伊藤俊也
綾里こども園	幼稚園籍 保育所籍 2人 11人	山浦玄悟	飯塚和彦	伊藤俊也
越喜来こども園	幼稚園籍 保育所籍 2人 13人	佐々木道夫	飯塚和彦	伊藤俊也
吉浜こども園	幼稚園籍 保育所籍 1人 7人	渡邊周永	飯塚和彦	伊藤俊也

※受診対象見込数は、平成30年11月1日現在

平成31年度 児童生徒「結核精密検査」実施医療機関

NO	医療機関名	住所	医師名
1	岩渕内科医院	大船渡町字新田49-4	岩渕正之
2	石倉クリニック	大船渡町字地ノ森43-9	石倉功一
3	うのうらクリニック	立根町字中野40-5	鵜浦哲朗
4	えんどう消化器科・内科クリニック	猪川町字中井沢7-2	遠藤稔弥
5	大津医院	盛町字東町11-11	大津定子
6	菊田外科泌尿器科医院	大船渡町字明神前11-1	菊田裕
7	滝田医院	末崎町字平林75-1	滝田有
8	地の森クリニック	大船渡町字山馬越188	藏本純一
9	山浦医院	盛町字内ノ目2-4	山浦玄悟
10	山崎内科医院	盛町字内ノ目7-20	山崎一郎
11	大船渡市立国民健康保険越喜来診療所	三陸町越喜来字所通26-1	佐々木道夫

◎大船渡市生活福祉部関係

平成31年度 こども園学校医

学校・園名	幼児見込数	内科	眼科
綾里こども園	77人	山浦玄悟	飯塚和彦
越喜来こども園	69人	佐々木道夫	飯塚和彦
吉浜こども園	52人	渡邊周永	飯塚和彦

※幼児見込数は、平成30年12月1日現在

◎陸前高田市教育委員会関係

平成31年度 陸前高田市立小中学校医

内科

学校名	使用校舎	児童生徒在籍数	医療機関名	担当医師名
高田小学校	高田小学校	164	岩手県立高田病院	大木智春
気仙小学校	新校舎	52	済生会陸前高田診療所	伊東絃一 深澤信博
広田小学校	広田小学校	126	陸前高田市国保広田診療所	岩井直路
小友小学校	小友小学校	67	鳥羽医院	吉澤徹
米崎小学校	米崎小学校	146	鳥羽医院	吉澤熙
矢作小学校	矢作小学校	25	陸前高田市国保二又診療所	石木幹人
竹駒小学校	竹駒小学校	53	鶴浦医院	鶴浦章
横田小学校	旧横田中学校	62	済生会陸前高田診療所	伊東絃一 深澤信博
高田第一中学校	高田第一中学校	236	鶴浦医院	鶴浦章
高田東中学校	高田東中学校	180	陸前高田市国保二又診療所	石木幹人

※児童生徒在籍数は見込数

耳鼻科

学校名	使用校舎	児童生徒在籍数	医療機関名	担当医師名
市内全小中学校	－	1,111	いとう耳鼻咽喉科クリニック	伊藤俊也

※児童生徒在籍数は見込数

眼科

学校名	使用校舎	児童生徒在籍数	医療機関名	担当医師名
市内全小中学校	－	1,111	飯塚眼科医院	飯塚和彦

※児童生徒在籍数は見込数

平成31年度 保育所等嘱託医

区分	保育所名(児童数)	年度当初園児在籍数	電話番号	嘱託医師名	医療機関名
公 立	高田保育所	92	54-3157	大木智春	岩手県立高田病院
	小友保育所	60	56-2800	吉澤徹	鳥羽医院
	今泉保育所	43	55-3031	伊東紘一 深澤信博	済生会陸前高田診療所
	長部保育所				
	矢作保育所				
法 人 立	広田保育園	77	56-3000	岩井直路	陸前高田市国保広田診療所
	米崎保育所	104	55-3047	吉澤熙	鳥羽医院
	横田保育園	29	59-2023	伊東紘一 深澤信博	済生会陸前高田診療所
	竹駒保育園	47	55-4345	鵜浦章	鵜浦医院
	下矢作保育園	30	55-2523	石木幹人	陸前高田市国保二又診療所
公 立	3歳児眼科検診	45	21-3012	飯塚和彦	飯塚眼科医院
	児童扶養手当障害認定医(内科)	—	55-2125	鵜浦章	鵜浦医院

※年度当初園児在籍数は見込数

※児童扶養手当障害認定医(外科)及び児童扶養手当障害認定医(精神科)は、推薦しない

陸前高田市学校各種委員会委員

1. 学校保健会委員(1名)

平成31年度委員 鵜浦章

【任期: 1年(平成31年4月1日～平成32年3月31日)】

2. 就学指導委員会委員(1名)

平成31・32年度委員 鵜浦章

【任期: 2年(平成31年4月1日～平成33年3月31日)】

3. 学校給食センター運営委員会委員(1名)

平成31・32年度委員 吉澤熙

【任期: 2年(平成31年4月1日～平成33年3月31日)】

◎住田町教育委員会関係

平成31年度 住田町保育園嘱託医・小中学校医

内 科

施設名	園児・児童生徒見込数(人)	医療機関名	医師名
世田米保育園	80	星こどもクリニック	星篤樹
有住保育園	40	星こどもクリニック	星篤樹
世田米小学校	103	星こどもクリニック	星篤樹
有住小学校	71	星こどもクリニック	星篤樹
世田米中学校	63	岩手県立大船渡病院住田地域医療センター	一瀬高志
有住中学校	38	岩手県立大船渡病院住田地域医療センター	一瀬高志

※園児・児童・生徒見込数は、平成31年2月15日現在

※就学時健康診断対象者見込数 世田米保育園：25人 有住保育園：7人

住田町各種委員会委員

1. 住田町学校保健会理事（1名）

平成31年度委員 星 篤樹

【任期：1年（平成31年4月1日～平成32年3月31日）】

2. 住田町教育支援委員会委員（1名）

平成30・31年度委員 星 篤樹

【任期：2年（平成30年4月1日～平成32年3月31日）】

※前任者の残任期間である平成31年4月1日～平成32年3月31日までの1年間のみの
残任期間

3. 住田町学校給食センター運営委員会委員（1名）

平成31・32年度委員 星 篤樹

【任期：2年（平成31年4月1日～平成33年3月31日）】

会員の異動

天野史子先生 (C会員→B会員)
(旧姓 新里)

勤務先 岩手県立大船渡病院

会員の退会

小野寺美緒先生

退会年月日 平成31年3月31日

下山 賢先生

退会年月日 平成31年3月31日

森野豪太先生

退会年月日 平成31年3月31日

加藤毬乃先生

退会年月日 平成31年3月31日

宋吉和先生

退会年月日 平成31年3月31日